

埼玉県立近代美術館

The Museum of Modern Art, Saitama

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel:048-824-0111 Fax:048-824-0119
E-mail: p240111@pref.saitama.lg.jp

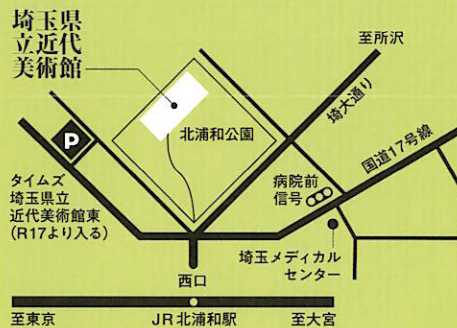
状況により休館および会期変更の可能性があります。
ご来館前に当館ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

【交通案内】

JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分。

当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「タイムズ 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。

お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので事前にご連絡をお願いします。



いつでもどこでもカンタン便利!

定期券を買うなら、モバイルSuicaで!

※モバイルSuica空席等の購入には、モバイルSuicaの会員登録が必要です。
※一部、アプリ操作のみでは購入できない区間・経路があります。



©埼玉県2005



<https://pref.spec.ed.jp/momas/>

Admission

観覧料

一般 900円(720円) 大高生 720円(580円)

()内は20名以上の団体料金

中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料です。

企画展観覧券(ぐるっとバスを除く)をお持ちの方は、

併せてMOMASコレクション(1階展示室)もご覧いただけます。

Collection Exhibition

同時開催

MOMASコレクション
(1階展示室)

2024年11月30日(土)~
2025年3月2日(日)

「セレクション」

「特集:木村直道」

「戦後日本美術の開拓者たち」

2025年3月8日(土)~6月1日(日)

「セレクション」

「アメリカの美術家たち」

Artist Project 同時開催



松平莉奈(花輪) 2024年

アーティスト・プロジェクト #2.08

松平莉奈 コードとモード(2階展示室D)

2025年2月1日(土)~5月11日(日)

戦後日本とメキシコの美術交流

Eyes on MEXICO

The Museum of Modern Art, Saitama

2025.2.1 sat

2025.5.11 sun

あの頃、みんな
メキシコに
憧れた



まなざし

メキシコへの



【休館日】月曜日(2月24日、5月5日は開館)

【開館時間】午前10時~午後5時30分
(展示室への入場は午後5時まで)

*一部展示替あり 前期:2月1日~3月23日 後期:3月25日~5月11日

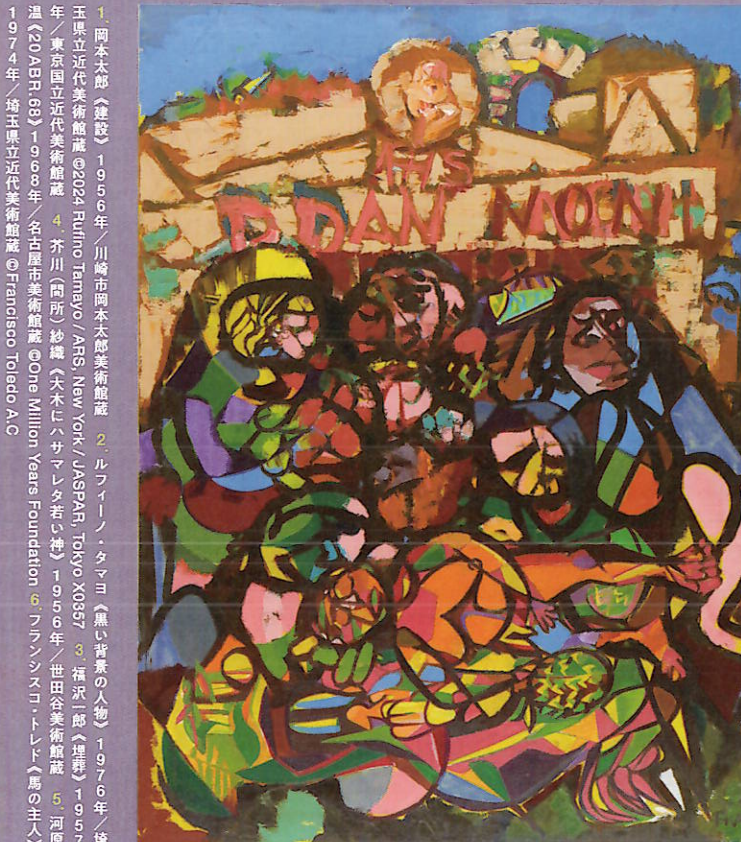
主催:埼玉県立近代美術館 助成:遠山記念館 芸術・学術研究等助成金

協力:JR東日本大宮支社、FM NACK5

埼玉県立近代美術館

1

950年代の日本では、メキシコ美術が展覧会や雑誌を通じて盛んに紹介され、多くの美術家はその鮮やかな色彩、古代文明や革命の歴史と結びついた力強い造形表現に魅了されました。とりわけ、1955年に東京国立博物館で開催された大規模な「メキシコ美術展」は、美術家たちがメキシコに目を向けるきっかけとなります。一方、埼玉県立近代美術館は1982年の開館以来、メキシコの近現代美術を収集し、メキシコ美術に焦点をあてた展覧会をたびたび開催してきました。こうした活動の背景には、埼玉県とメキシコ州との姉妹提携締結（1979年）に加えて、1955年の「メキシコ美術展」を訪れ、メキシコ美術への造詣を深めていった初代館長・本間正義の存在がありました。この展覧会では、1950年代にメキシコに惹かれた美術家の中から、福沢一郎、岡本太郎、利根山光人、芥川（問所）紗織、河原温の足跡をたどり、彼ら彼女らがメキシコをどのように捉えたのかを考えていきます。また当館のメキシコ美術コレクションとその形成の歩みを、学芸員としてメキシコ美術の普及に努めた本間正義の仕事とともに紹介します。作品や資料、開催された展覧会などを通じて、戦後日本がメキシコ美術に向けたまなざしを、様々な角度から検証する試みです。



1 岡本太郎（建設）1959年／川崎市岡本太郎美術館蔵
2 ルイ・ブナエルの「黒い背景の人物」1976年／埼玉県立近代美術館蔵
3 2024 Futuro Tanayo / ARS, New York / JASPAR, Tokyo X0367
4 芥川（問所）紗織「大木」1956年／世田谷美術館蔵
5 河原温「20 ABR. 68」1968年／名古屋産業美術館蔵
6 One Million Years Foundation / TIANXIN ART / 1974年／埼玉県立近代美術館蔵
7 Francisco Toledo A.C.

あの頃、みんなメキシコに憧れた

Eyes on MEXICO

メキシコへのまなざし

The Museum of Modern Art, Saitama

2025 2.1 sat - 5.11 sun

戦後日本とメキシコ美術交流



◆ 出品予定作家

福沢一郎、岡本太郎、利根山光人、芥川（問所）紗織、河原温

ホセ・グアダルーベ・ボサダ、ホセ・クレメンテ・オロスコ、ディエゴ・リベラ、北川民次、ダビッド・アルファロ＝シケイロス、ルフィーノ・タマヨ、堀内秀夫、高橋力雄、ルイス・ロニザワ、吉田穂高、フランシスコ・トレド、マルティン・ディアスマンハレス

レクチャー「1955年のリアリズム」

講師 | 辻泰岳（美術史および建築史）
日時 | 2月8日（土） 15:00～16:30（開場は14:30）
場所 | 2階講堂 定員 | 80人（当日先着順）
参加料 | 無料

レクチャー「岡本太郎とメキシコ」

講師 | 仲野泰生
（京都場館長／元川崎市岡本太郎美術館学芸員）
日時 | 2月24日（月・休） 15:00～16:30（開場は14:30）
場所 | 2階講堂 定員 | 80人（当日先着順） 参加料 | 無料

トーク「1960年代メキシコ紀行ー利根山光人のカメラを通して」

出演 | 立花雅子（利根山光人長女／アルテトネヤマ理事）
佐伯綾希（当館学芸員）
日時 | 3月1日（土） 14:00～15:30（開場は13:30）
場所 | 2階講堂 定員 | 80人（当日先着順） 参加料 | 無料

制作実演+トーク+映像上映

出演 | イサイアス・ヒメネス（メキシコ民芸作家）、山本正宏（LABRAVA）
日時 | 3月22日（土） 14:00～15:30（開場は13:30）
場所 | 2階講堂 定員 | 80人（当日先着順）
参加料 | 無料
内容 | カラフルな彩色木彫りで知られるイサイアス・ヒメネスがメキシコより初来日！制作実演を交えながらのトークと、イサイアスの父でありオアハカン・ウッド・カービング（メキシコのオアハカ州で作られる彩色木彫り）の創始者、マヌエル・ヒメネスのドキュメンタリー映像の上映も行います。

担当学芸員によるギャラリートーク

日時 | 4月12日（土）、5月4日（日・祝） 15:00～[1時間程度]
場所 | 2階企画展示室 *企画展観覧料が必要です

スライド・トーク

ご希望のグループにスライドを使って本展覧会の見どころをご案内します（予約制）。お問合せ・ご予約は教育・広報担当（Tel: 048-824-0110）まで。

EVENTS 関連イベント